

平成28年度 十文字元気プロジェクト実施報告

No.	プロジェクト名称	代表者	構成員	担当教員	プロジェクト概要
1	十文字 元気！ 寄席	人間発達心理学 科 13JC069 紫村 文佳	8名	人間発達心理学 科 風間 文明	落語を通して多くの日本文化に触れ、落語の歴史、言葉使い、作法などを知識を身につけることが出来た。また知識だけでなく、実演することにより、少なくとも1つの噺を語れるようになった。この知識や実技を活かし、落語を知らない人にも、実際に演じて見せることで、落語をわかりやすく紹介できるようになった。また、落語を通じ、プレゼンテーション、コミュニケーション能力について考え、高めることが出来た。声の調子や表情、身振り手振りなどで表現することで、人に伝えることの難しさや楽しさを改めて感じ、表現力、コミュニケーション力に磨きをかけられた。大勢の人を前にして様々な人物の喜怒哀楽を表現できたことで、大きな自信になり、今後、自己アピールやプレゼンにおいて大いに役立つ経験となった。
2	ゴミ撃退プロジェ クト	生活情報学科 14JF062 南雲 ひとみ	6名	メディアコミュニ ケーション学科 石野 榮一	新座市のイベントにて食品ロスやゴミ問題に関するアンケートを実施し、ゴミ問題に対する意識を高めていた だけよう活動を行った。また、ゴミ拾いアプリを使用して、新座駅から大学までの間をゴミ拾いイベントを行っ た。ゴミ拾いの後に、紙パックや玉ねぎの皮を使ったりリサイクルはがきやメッセージカードを作成するなど、リ サイクルに関する活動も実施した。
3	さともんち行く情 報発信の旅！	人間福祉学科 14JE002 阿左美 愛帆	4名	人間福祉学科 佐藤 陽	熊本にて震災支援のボランティア活動を行うとともに、定期的に学内新聞を作成し、埼玉にて熊本に関する情 報発信活動を行い、熊本への関心を高めることを目的にプロジェクトを実施した。新座市のイベントにて、熊 本県大津町の郷土料理である「いきなり団子」と「がね揚げ」を作り販売、又、熊本県大津町のさつまいもを販 売。イベント売上や募金活動などから大津町に支援金として¥115,502を届けることができ、大津町の農家の方 や熊本県立大学の学生と交流できた。またイベントの際テントに写真を掲示したり、校内に熊本に関する新聞 を掲示し、熊本に関する情報発信ができた。
4	新座の野菜でニ コニコランチ～野 菜スタンプで遊ぼ う	食物栄養学科 14JD105 舩水 理央	65名	食物栄養学科 小林 三智子	野菜に親しみを持ってもらうこと、好き嫌いをなくし食に興味を持ってもらうことを目的としてプロジェクトを実施 した。部員達で多様な野菜が摂れる献立を考慮して作成し、調理して弁当を、付属幼稚園の幼児、その保護 者を対象とし、提供した。食事後、「野菜クイズ」や「ねりきりづくり」を行った。イベントの最後に園児、保護者 にアンケートを実施した。プロジェクトの実施によって食や野菜の意識に対し、良い影響を与えられたと考え た。イベント開催の宣伝が上手くできず参加者が限定されて少なかったことが課題となった。プロジェクトを 実施したことで、構成員が自ら考え、行動を起こすことの重要性や困難なことを学んだ。困難な場合が生じて も、柔軟に対応していくことが必要だった。
5	七夕ゆかたeve フェス2016	文芸文化学科 15KG005 内山 詠美里	7名	語学教育セクター シーラ クリフ	伝統文化を「表現」「再発見」という観点から、文芸文化・メディアコミュニケーション学科の学生を中心に、 七夕イベントを実施した。日本髪アレンジワークショップや着物コンテスト・ファッションショーを行い、地域住民 や、日本文化に興味を持つ外国人、学科の枠を超えた交流が実現できた。このイベントを通して、自分たちの 日本文化に対する認識を深めるとともに、自らイベントを企画し、進めることで自己成長することができた。
6	ユネスコ世界遺 産和紙×小川七 夕まつりサポート プロジェクト	メディアコミュニ ケーション学科 14JG035 有田 佳予	15名	文芸文化学科 松永 修一	埼玉県小川町の七夕祭りイベントにサポーターとして参加した。メディアコミュニケーション、文芸文化学科、 留学生で構成されたメンバーによって、七夕祭り実行委員会のお手伝いをし、日本の伝統的なお祭りの準備 や国際交流の場として自分たちの企画するイベントを成功する事が出来た。また、小川町の紙すきの和紙技 術がユネスコの世界遺産として正式登録され、日本の伝統文化の伝承のアピールイベントも役場の方々とい っしょに企画することが出来た。このプロジェクトは自分たちも伝統文化の理解を深め、様々な形での情報発信 のお手伝いをする事で、埼玉の文化に対する誇りを感じるきっかけになった。たくさんの方との協働を通し、自 分たちも様々な体験を出来、成長出来たと思う。